

## 野洲市民病院整備に関する市民懇談会⑦ 報告

日時：令和4年7月5日（火） 午後19時～21時21分

場所：コミセンきたの

### 【市長】

市民懇談会にお集まりの皆さんこんばんは。

野洲市長の栢木でございます。

開会の時刻となりましたが、少しお時間をいただきまして、私からの報告とお詫びを申し上げさせていただきます。本年3月に市の幹部職員でお2人が、市長である私からパワーハラスメントを受けたと訴えていたことについて、第三者委員会でのハラスメント対策委員会が調査審議結果を取りまとめられ、去る6月30日に報告をいただきました。

そのうち私のとった言動の一部がパワーハラスメントに該当するものという結果でございました。この私の言動につきましては申し出をされた職員のお2人に対しまして、まずは心から謝罪を申し上げたところであり、市民の皆様の方々の多くの方々に対し、ご迷惑と心配をおかけしましたことについて、深くお詫びを申し上げます。

今後はこのことを肝に銘じて、職員の皆さんとのコミュニケーションをより一層に大切に、しっかりと意思疎通を図ることで、お互いの考えをより深く理解できるよう、一生懸命努めてまいりたいと考えております。

誠に申し訳ございませんでした。

以上、時間を頂戴しました。

### 【小池】

皆さん、こんばんは。

それでは野洲市民病院、野洲市民病院整備に関する市民懇談会を開催させていただきます。

私は、本日司会を務めます政策調整部の小池でございます。よろしくお願ひいたします。

本日の市民懇談会は、野洲市民病院整備に関する…、野洲市民病院整備に関する新たな場所と方向性について説明をさせていただきます。その後、皆様との意見を交えてきたと思いますのでよろしくお願ひいたします。

なお開催に当たりまして、記録等の作成上で、写真撮影と発言内容の録音またはビデオ撮影をさせていただきますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

それでは初めに、開会にあたりまして市長の栢木よりご挨拶申し上げます。

### 【市長】

皆さん、改めまして。野洲市長の栢木でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

本日はお忙しい中、野洲市民病院整備の市民懇談会にご参加いただきまして、誠に有難うございます。開会にあたりましてご挨拶申し上げます。

皆様方には、平素から野洲市のまちづくりの推進に格別のご高配を賜っておりますことに対しまして、心から御礼を申し上げます。

さて本日は、本年1月14日に熟考を表明して以降、ご心配をおかけいたしておりました野洲市民病院の新たに見定めた整備場所を、その実現に向けた推進方策案をお手元の資料に基づきご説明をさせていただきます。

その前に少しお時間をいただき、この新たな方策をお示しするまでの経過と、その都度の私の判断の内容について述べさせていただきます。

これにつきましては、本日皆様にお配りいたしました資料の中に、私からのメッセージと題した紙を入れておりますので、ご参照いただきながらお聞きいただきたいと思います。このような次第とありますけど、両面の1枚の紙をつけさせていただきます。

私は令和2年10月の市長選挙において、駅前はにぎわいを創出し、税収を図る場とし、そこでの新病院整備を行わないことを申し上げ、市民の皆様からの信任をいただきました。

そして、駅前整備の代替案として掲げていた現地建て替えについて、就任後すぐに公的な検証を行っていただきました。その結果は、建築技術的には可能ながら、医療を運営しながら施行することは困難というものでありましたことから、やむなく断念をいたしました。そこで立ち止まることなく、三つの候補地を示し、令和3年5月には駅前 B ブロックで病院を整備することに優位性があると判断をいたしました。

このとき、私が B ブロックでと判断した最大の根拠は、駅前以外の場所で整理しようとした場合、病院事業債の一括償還が、社会資本整備総合交付金の不交付などで財政的な負担が大きく、昨年、今頃、当時の市や病院の資金状況では対応できないとする試算結果を是と判断したことであります。

そして、評価委員会の先生方から、埋蔵文化財の包含地であることや、市の関係計画等との調整に時間を要することから、病院の早期整備を望む市民の願いに応えられないと進言されたことや、当時の市議会の状況を見て、B ブロックであれば、市議会に委託された駅前を望む民意にも添えると思込んだためでございます。

しかし、その後10月に状況が大きく動きました。市議会議員の改選により、議会の総意に変化が生まれ、本年1月5日には、市議会の最大会派から B ブロックにおける病院整備を速やかに断念し、新たな用地に整備すること等の要望書が提出されるに至りました。

また同じ頃、鋭意検討を進めていた駅前 B ブロックでの新病院整備の計画の草案が上がってまいりましたが、駐車場がわずか40台で車寄せも少なく、動線も極端な縦型になってしまうその内容を見て、これでは市民の医療を持続的に担える病院となり得ないのではないかと憂慮するに至りました。

そして、そもそも混雑しがちで、市内各所から車でのアクセスが困難な駅前に、全ての市民に公平に使いやすくあるべき市民病院を、整備できるのか。また、野洲市全体のまち作りの起点というべき駅前南口に本当に病院が最適な施設なのかと、改めて思いを巡らせるようになり、1月14日、別の選択肢も視野に、市長執行部として熟考するべきと判断したものでございます。

熟考当初の頃は、市民の皆様や議員のご意見、その他野洲市内の開業医の先生を含む複数の医療関係者の方からもご提案やアドバイスをいただきながら、野洲市の将来に禍根を残さない最良の選択を目指し、Bブロックを対象に検討・熟慮をしておりました。

しかし、3月議会の終盤に、野洲駅前Bブロックでの病院整備事業の早期再開についての決議案が提出され、3月25日、賛成が7人という少数で図らずも否決されてしまうことが起きてしまいました。

私はこのBブロックが否決されたという事実を極めて重く受け止め、そして4月に入り、今日お示しする内容で整備するよう、地域医療政策課に指示したものでございます。

今回ご提案申し上げる新病院の整備場所は、野洲市総合体育館の温水プール跡地でございます。

この場所は昨年検討した三つのうちの一つの体育館裏と近接し、一部重複する場所でございますが、優位性はそのままに、当初で問題とされていたいくつかの大きな課題をクリアできる場所であると考えております。

そして何より、本市のほぼ「中央」に位置し、市内各所からの車でのアクセスに優れ、市街化区域に隣接した利便性の高い場所であり、新病院の優良な整備場所であると考えております。

この提案は本市のまちづくりに関わる政策の大きな変革であり、新病院整備と、駅前のにぎわい作りという二つの大きな課題を、健康を基軸としながらも、事業としてはすみ分けて推進しようとするもので、市民の安心と安全を支える中核的医療の確保を確実なものとしつつ、駅前のにぎわいと税収を生み出す可能性を広げ、希望の持てる持続可能なまちの創造を可能とするものでございます。

本日はこの新たな方策の内容をお聞きいただくことで、これまでご心配いただきご懸念いただいていたことも、払拭していただけたらと思っております。

長くなりましたが、本日は本計画の実現に向け、皆様方には忌憚のないご意見、ご質問やご意見を賜りたいと考えておりますので、よろしく願いをいたします。

以上お越しいただいたことへのお礼と応答のご挨拶といたします。

この後、内容を担当部からご説明申し上げますので、よろしく願いをいたします。

#### 【小池】

それではここでお時間をいただきまして、事務局を紹介させていただきます。

まずは野洲市長の栢木でございます。

#### 【市長】

どうぞよろしく願いいたします。

【小池】

副市長の佐野でございます。

【副市長】

佐野でございます。よろしくお願いします。

【小池】

健康福祉部政策監の布施でございます。

【布施】

布施でございます。よろしくお願いします。

【小池】

同じく健康福祉部次長の駒井でございます。

【駒井】

駒井でございます。どうぞよろしくお願いします。

【小池】

政策調整部部長の赤坂でございます。

【赤坂】

赤坂でございます。よろしくお願いします。

【小池】

ありがとうございます。

改めまして私は政策調整部次長の小池でございます。その他、地域医療政策課および企画調整課の職員、本日3名が出席をしております。名札を着用しておりますので、紹介は省略をさせていただきます。

それでは市民懇談会に入らせていただきます。

お手元の資料、野洲市民病院整備の新たな方策について、地域医療政策課より説明を申し上げます。

【 以下、説明は省略 】

【小池】

それでは、ここからは皆様方からのご質問ご意見をいただけたらと思います。

順番にお伺いをします。その場で挙手をいただきましたら係りの者がマイクをお持ちいたしますので、ご発言をお願いします。

なお、限られた時間でございますので、ご質問とご意見は可能な限り、今説明させていただいた内容から大きく離れることがないようにお願いしたいのと、多くの方からご意見いただきたいと考えておりますので、1人1問ずつでお願いいたします。

また、ご発言の前には、お住まいの地域とお名前、こちらご協力をお願いをいたします。  
それではご質問、ご意見等ございますでしょうか。

#### 【市民】

栢木市長、お久しぶりです。スポーツを通じて、栢木市長は柔道・私は[REDACTED]と、青少年の育成の場で長年勤めております。

今日は市民の声を聞くということで、北野学区が最終となりました。

私、北野学区に住んでおります富波乙の[REDACTED]と申します。

今回、私達スポーツする、指導する者にとって、子どもたちに嘘はつかない、騙さない、人の心を傷つけない、体を傷つけない、こういうものが非常に子どもたちにとって原点だということを指導しております。

その中で、栢木市長は当選後すぐ、約束を破りました。そして今回、パワハラという問題を起こし、人の心を傷つけました。非常にこれは、全国版で、私達子どもを指導する者にとって、非常にづらいものがあります。

そして今、栢木市長の挨拶の中で、大人に向けて、地域に向けてのお詫びの言葉がありました。じっと聞いておりました。子どもの、今、テレビマスコミを通じて子どもたちは全部知っております。その子どもたちに対しての言葉が、一つもございませんでした。

スポーツ、政治に入る前の栢木市長とは、役員会でいろいろと、未来ある子どもたちの素晴らしい生き方をお話してきたことが、懐かしく感じられております。感じております。

私は今、栢木市長は、この重大な2点について、どのように子どもたちに対して、これから未来ある子どもに対して示していかれるのか。これは、とつても私自身、不安しかありません。

そして今日は、新病院について、市民の声を北野学区の、最後の日です。私も8年前、市会議員をしておりましたので、この病院の最初のところから関わりました。ここにも旧市会議員の方が何名か見えております。駅前でということ、そして土地はどこか、そして病院は雄快じゃないか、本当のその原点から関わってきました。

その原点が、ここ10何年、安心して私達はやめました、議員を。もう駅前という素案ができておりましたので、もうこれは安心ということで、卒業させていただきました。

ところが、二転三転としております。1日も早くと、言葉では簡単ですが、なかなか進んでおりません。今、災害が起きたとき、私達市民はどこに逃れたらいいんでしょう。

今、市民の声を…、最後まで聞いてください。私は栢木市長に、私が市民の声1人として、お伝えいたします。

今、環境のいい静かな場所で、プールの跡地ということに収まろうとしてますが、私は駅前がいいと思っております。それは、この病院は二次医療です。二次医療は、回復期の患者さんが移る場所なんですね。期待を持って、駅で人が行き交う、そしてお買い物できる。そういう賑やかな明るい場所で、私とその立場だったらそういうところを選びます。

今プールになりますと、足も不便です。私ももう77歳で、免許を返さないといけない、車に乗れません。

私は市長に、お願いがあります。

長いお話とお聞きになるか、それも市民の切なる気持ち。それをお聞きになるのか。私は栢木市長に期待をしながら、市民の声としてお届けさせていただきます。

どうも皆様、長いことすみません。どうぞ、皆さんのご意見もお聞かせください。

【市民】

上屋の■■■■です。

今回いろいろ、駅前も廃案になったのも、これは民意で、議会の民意でなりましたんで。今度は新しく、市が考えていただいたこの素晴らしい案を、もう着々と進めていただきたい。ところが、委員会をも抜けにしないように。今までいろいろと、篠原小学校の耐震化工事でも本当にミスで、祇王小学校でやっております。祇王も、予算もかかってます。そういうことを逐次見てますんで、必ず委員会をも抜けにしないで、よろしく願いしたい、進んでいただきたいと思います。

駅前に関しては、前に市長が公約しておられました。にぎわいと税収を出す。これはもう民間デベロッパーによってやってもらえりゃ、いいです。もう口だけ出して、下手に手を出したら、もう損するだけです。駅前のにぎわいなんか、ね。ほんで、それは市民の意見も聞いていただきたい。ね、どういう事業をするのか。

ということで、肅々と進めていただきたいと思います。

よろしく願います。

【小池】

その他、ご意見、ご質問等ございましたら。

【市民】

■■■■です。住まいは南櫻です。

先ほどから、駒井次長さんのすごい説明を聞いていたら、知らず知らず、魔法の、言葉のマジシャンにかかったように、吸い込まれて聞いておりました。

が。私も駅前に関して、病院がいるかないかという時から、活動に関わっておりますので、この資料を読めば読むほど、話を聞けば聞くほど、疑問が噴出してくるのです。

私は、結論として申し上げます。体育館の温水プールの跡は、反対です。

今までちゃんと駅前も、皆、専門家とか、いろんな人の検討をしたせいで一緒になってきたものです。

それとまた、この説明について、医師会さんがここに書いてあります。「総合体育館横には、新しい市立病院は建てられません」(令和4年5月23日付の意見広告を提示——議事録作成者にて補記)

というふうに、書いておられます。これは政治的な新聞で…、チラシではございません。皆さんの健康と命を守るために意見を、広告意見として、出しておられるんです。それも資料として、皆さん、しかと読んでいただきたいと思います。

それとこれに対して、医師会の方の相談もあるんですが、あの高圧線とか、いろんな懸念が沢山あります。私は、昨日、現場を見に行きました。

大変びっくりしました。こんなとこで建つんかと思うたら。高圧線があり、空とか川があり、それからこんなとこに、と不安がいっぱいありましたけれども。皆さんも現地を見られましたか。もう一遍、先ほどのこうおっしゃってますように、絵に描いた餅にならないように。私は絶対に、温水プールは反対です。

それと、また市長さんに申し上げます。出ておられた時には、どんな気持ちでいはるやろか。私、ちょっとあの、チラシをみてきました。そしたら、あの…。…よかった、住んでよかったという…。書いてました。だから福祉の町とか、そのように、ちゃんと初心にかえって。市民と議会を置き去りにしないように。切にお願いいたします。

今日も議員の皆さん来ておられます。私達の熱い思いを、しっかりと議会にお伝え下さいますよう、万感の思いを込めて、お願い申し上げます。

#### 【市民】

行畑の■■■です。

あの、まあ、大抵そうですけども、トップが変わったら、いろんな政策、いろんなもんが変更されることは多々あります。

その中で、栢木市長はいろいろと熟考されてきまして、あっちやないか、こっちやないか。私はそれ、あっちこっちこの、いろいろ考えられて変わってきたのは、それはいいと思います。そこで、今、駒井さんからいろいろ説明、聞きました。大変、立地的にいいところだと、私は思ってます。

例えば、市長あるいは敷地にある皆様方、そしてまた市民の方、一致団結してこの場所で早期に病院ができるように、一致団結していきたいなと思っております。よろしく申し上げます。

#### 【小池】

ご意見。すいません、順番にいきますね。一番後ろの…。

#### 【市民】

北野の■■■と申します。

先ほどシャトルバスを運行するというふうに仰いました。今聞いたら駅前からの発着ですけども、今度は中主の方から、安治方面から、シャトルバスを運行することになると思います。そうなったら余計な費用がかかるんじゃないですか。

それと今、市民の方が通うのに自家用車だったか、そういうものがあると。その方が多数だと仰いましたけれども、先生方の通勤はどうなるんですか。先生方は地元の先生ばかりいらっしゃるわけではありません。遠いところから来てくださる先生方、多いと思います。そういう場合の先生方の対応は、どうなるんですか。

以上です。

#### 【小池】

すいません。

今の、ご質問として、担当の方からお答えさせていただきます。

#### 【駒井】

ありがとうございます。

今日、お配りをさせていただいている資料、分厚い方の資料ですね、5月18日と書いてある資料ですけども。その22ページをご覧いただきたいと思います。字ばかりの資料で申し訳ないですけど。

今、ご質問いただきました送迎バスですね。そちらにつきましては、今のところは、野洲駅北口発着で、ピストン輸送をしようというふうに考えております。当然、ドクターの通勤時間帯にも合わせて運転をしようというふうに思っております。それに駅周辺にお住いの方はご乗車いただいて通院もしていただけるというふうに考えております。

ちょっと検討段階なんですけれども、今ご提案いただきましたように、可能であれば中主の方であったりとか篠原の方であったりとかですね、そういった各所からも直行の送迎車を運転できたらなあというふうに考えてございます。あくまでも試案ですけども、例えばデマンドタクシーというのをご存じやと思うんです。守山でやってますよね。でも野洲市の交通政策では、今までそういった施策がなくてですね、循環バスでやってきたんですけども。例えば病院が運営する患者さんに特化したデマンドタクシーということであれば、午前のタクシーの空き時間等々でできる可能性も高いですし、比較的単純で効率的にそういった事業を行えるんじゃないかというふうにも考えております。まあいろんな案を考えております。

それから、あと、コミバスなんですけれども。こちらにつきましても、今、既に3路線、体育館に入ってるんですけども、残り4路線のうち三上と近江富士につきましては、少しルートを延長すれば、病院の方にまっすぐ入ってこれる。そういうことでございますが、申し上げましたような変更は、令和8年度に大規模なルート改正等々を検討するタイミングが、5年に一度の定例で、ちょうど当たります。そのときに、市民の皆さんの通院利便性を確保していきたいと考えてございます。

あと、ドクターの通院手段でございます。確かに今、18人おられる常勤ドクターのうちの9人が、JRを使って通勤をされているところでございます。ただ駅前にあるからJRを使って通勤をされているという方も多分におられると思いますし、病院が、車の便利なところとなれば、車で通勤される



方も多くなってくるだろうと思います。特に、もうすぐ開通が見込まれます国8バイパスですね、栗東インターから国8バイパス。そういったところを使いますと、高速インターのある京都・大阪・大津・瀬田などから栗東インター、栗東からは野洲まで6分で到達できるようになります。その辺考えますと、車での通院利便性というのは、野洲は格段に上がってくるっていうふうに考えます。そして湖南幹線もまもなく、野洲川に橋がかかりますが、これも開通が見込まれております。大津・草津方面からの車での通勤も、格段にこの場所、これも向上するというところでございます。

なおですね、ドクターですが、公共交通が動いてる間に通勤なさるドクターというのは、基本、日勤のドクターであります。外来対応のドクターですね。そういったドクターを、たくさん確保することも大事なんですけども、やはり、重要なのは病棟で夜勤に対応できるドクターでございます。こういった方は、基本的には車で通勤される方が大半でございますので、そういった方の確保については今の場所でも全く問題ないというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

#### 【小池】

はい。その他、ほか、ご質問、ご意見。先ほど2人、じゃ、順番にいきますね。

#### 【市民】

市三宅に住んでます、■■■■といます。

病院についてなんですけども、栢木市長が二転三転したあとに、今プールの跡地にしようって決めた、そのきっかけっていうか、何でそこが、跡地が使えるなと思ったのか。

あとその、新しい病院について。年配の方も多いですし、これからは老後の病院、終末期のというの分かるんですけど、これからは子どもも増えていかないと町はこれから持続可能にはならないと思うので、産科の整備はどのくらい守っていくのか。長浜市では民間の産婦人科とかはあっても、公共の大き目の病院では産科がどんどん削られていって、子どもを安心して産める病院が少なくなっているようです。そういうところ、野洲のこんどの新しい野洲の病院が、どういった医療を行っていくのかっていうところを知りたいです。

あと、ちょっと意見なんですけど。いま、現病院、野洲病院に、歩いてくるとか自転車で来るとか、19%あるというところ。そっちので視点で見ると、やはり人口密集地で、歩いてこれる場所にあるっていうイメージは、すごくあると思います。で、プールの跡地にもし出来た場合、そこは周りに人口がどのくらい、野洲駅前と比べて、どちらがどのくらい違うのか。歩いてこれる人が格段に減ると思いますが。

で、車、車って仰ってますけど、このエネルギーの高騰の中、これから10年20年、30年先も50年先もですけど、車社会が本当に維持されているのかというのも、とっても疑問に思っております。

本当に今だけの問題じゃないし、基本的にこの反対だ賛成だっていう、大人の、罵声のような意見交換を聞くのは、本当に子どもたちにも見せたくないなという思いが状況なんで。冷静に、本当に私たちが住む、病院を造って欲しいなと思っています。

以上です。

#### 【駒井】

はい、ありがとうございます。私の方から先ず、事務的に答えられるところを申し上げたいと思います。

まず、なぜ今の場所か、ご質問頂きました。実は、裏話というと変ですけど、本当のいきさつを申し上げますと。

我々4月に着任をいたしまして、市長の方から、体育館周辺で整備が出来ないか精査してくれという指示を受けました。

で、三候補地のうちの1つとして去年の5月に挙げられてました、体育館裏駐車場を確認に行きました。やはり、四角い平べったい場所ですし、ここでどういった形の病院を建てて、どっち向けて建てたらいいだろうなということを、いろいろ考えながら歩いてみたわけでございます。ただその場所をご存知かもしれませんが、ぎおうの里に行く細い道がありますよね、あれを接道にせなきゃいけない。それから、上下水の管も75φしか入ってないので、それも全部、やり変えなきゃいけない。それに、土地が概ね田と同じレベルでございますので、水が浸りやすい。様々な障害があるところで。これなかなか大変な場所だなあと、実はその思ったわけでございます。

で、肩を落としてと、言ったらなんなんですけども、すごすごとその周りを探索しておったんです。そしたら実は今先ほど写真でご覧いただいた温水プールがあってもう除却されてですね、整地されて更地化された土地に足を踏み入れたわけでございます。で、ここは一体?と。敷地に使うことができるのかということで確認をしたところ、ここなら前の広い2車線の道路に接道をとることができる、上下水の管径もクリアできてる。一番大きな課題として評価委員の先生からもご心配いただいた文化財の包含地もはずすことが出来る。さらに、すでにもう1m近く嵩上げ済みですので、浸水のリスクも極めて軽減できる、ということで、この土地なら、市民の医療を持続的に確保できる病院が建てられるのではないかとこのように思い至って幹部に報告したのでございます。これが経緯です。

あと、もう一点おっしゃった産科の話でございますが。産科につきましては、今度の新病院では、計画をいたしておりません。これはですね、残念に思われてるかもしれませんが、今、滋賀県内のみでなく全国ですけども、産科のドクターの確保は非常に困難でございます。従いまして、数字が出てましたけども、滋賀県内では4つの拠点病院に集約する計画になってます。この湖南地域は、確か滋賀医大だったと思います。それが産科の現状でございます。

で、野洲病院にも何年か前は、産科は確かにございました。市民の皆さんから非常に好評であったわけなんですけども。でその産科の先生が、野洲病院から野洲市内に開院されて、野洲市内の産科の需要はそちらの方で、民間が満たしているということでございます。

ですから、確保に関し非常に困難な科のドクターというのは、国・県全体の方針に従って集約化される、これはもう、そういった制度、流れでございますので、そちらの方で対応して頂くという考えでございます。

ただ、婦人科という科については、「産」はないですけども、標ぼうを予定をいたしております。

あと小児科は何とか頑張ってドクター確保してと考えるんですけども、小児科についてもですね、これも実は非常にドクターが不足している科で、これも滋賀県では一定集約化の流れになります。拠点、拠点にそういった小児科を置くという流れですね。これは、野洲市だけではなかなか、置きたくてもできないということで、国の医療政策、或いは県の医師確保の政策、こういったところが重要になってくると思っているところでございます。

それから、歩いてこられる方は19.4%、確かにおられます。これ、先ほど申した駅前の根拠のところで「身近な場所だからいい」というふうに書いてあったって言うんですけども、身近っていうのは、人それぞれみんな身近な場所は違いますよね。今回の新しいところの身近は、川挟んでDIA地区、人口集中地域があります。またこの地域ですね、県営住宅、市営住宅が近くにあり、そこに比較的近いんです。私、実は、介護保険を長く担当しておりましたんですけども、地域包括支援センターの保健師が、通院の支援で苦勞するのが、一人暮らしの高齢者なんですけども、公営住宅にお住まいでなかなか支援をしてくれる家族がいない高齢者の通院支援に、比較的苦勞しているのを目の当たりにしてきました。そういったところを考えると、この大規模な公営住宅に近いところに市民病院ができるということは、身近ということで一定の効果があろうというふうに考えてございます。

また19.4%の方ですけど、年齢を分析したところ、必ずしも後期高齢者の方ばかりではなかった、比較的、若いとは申し上げませんが、前期高齢者と呼ばれる方が来られてるということでした。

お車お持ちじゃない方は、申しあげましたシャトルバスなりに乗って通院をしていただきたいんですけども、特に駅前にお住まいの方については、既得権と申し上げると妙な言い方になりますけども、今まで病院があったわけですから、そこから新しい場所に通院していただくための利便性については、市としても、特に真剣に考えて確保していきたいというふうに考えてございます。

あともう一つ、エネルギー高騰とおっしゃいましたとおり、自動車はこれから、確かに内燃機関というのはどんどん減っていくかもしれませんが、電気自動車に替わっていく感じですよ。それと、野洲市の公共交通の現状、ご存知かと思いますが、路線バスはほとんど撤退ですよ。で、これからBRTといいましてね、今JRの操車場のところで実験してます自動運転のバス、そういったものが本当に現実可能になってれば、路線バスも変わってくるかもしれませんが、基本的に、当分の間は、内燃機関ではなくなれども、モビリティはおそらく各々で、数十年間は自動車が通院の手段のままいくだろうと、これは間違いないだろうと考えてございます。そういったところで、

今の場所、広いところに立地するという事は大きなメリットではないかというふうに考えておるところでございます。

ご意見、ありがとうございます。

【小池】

はい、それでは次になります。

【市民】

野洲の■■■■です。

市長のメッセージの中に、最後に「本計画の実現に向け、皆様の忌憚ないご意見」云々とありますけれども。これは、何か、実現が前提にされてるようなイメージでございます。病院っていうのはどうあるべきかということをお願いしたいというふうに思います。

それと最初の方に、これ市長、訂正されて発言されましたけれど、さらりと。「私は令和2年10月の市長就任において、駅前にはにぎわいのある創出」云々「ということで、市民の皆様から信用をいただきました」と。これ選挙においてですね、そういう訂正されました。この「選挙において信任された」中に抜けてるのは、「新病院建設は行わないこと」をじゃなくって、現病院のところ半額で建てる。これ、誰が反対できるんですか、現病院のところ。私も賛成です。しかも半額ですよ、賛成です。だからこれでいいです。そうしたら、駅前に建てるということは、もうそれは含まれてますから。だから、現病院を半額で建てるというのと駅前のA地区に建てる。非常に市民の関心が高い選挙でしたので、その2点で争ってほしかったんですね。いまさら言っても遅いんですけども。

これは結局そのあとどうかとなると、現病院では、技術的には可能ながら、医療を運営しながら施工することは困難。不可能ではないですね、困難。医療を運営しながら。

じゃ、他に方法がないのか。これだけいろんな、2か月で、立派な、非の打ち所のない資料を提供された市職員の方が、運営しながら施行しない方法を考えたら、ありませんか。これ、私の単独、独断ですけども。例えば、できるかどうかは別にして。いろんなところに分散するとか、一時的に。運営しながらやるってのは、もう、これは無理やっていうのは、まあ、素人でもわかります。

それで、最後、皆さん、忌憚のない意見を聞くということで、市長にこれをお尋ねしたいんですが。前回はA地区のところ、住民投票をやりました。でも、結果は50%いかないからということで、その結果がどうなったかもわからない。今回はこうやって説明会されてますが。最後の説明会を残して、議会でこの方針を進めようとしたが。これは驚きでしたですね、一票の差で。だってまだ住民説明会が済んでないのに進めるっていうのはおかしいんじゃないかと、議長を支持してる方から言われ、テレビでも報道されました。新聞にも書いてます。先ほどの方が仰った通りです。

この市民の意見を聞く方法として、今回も、この地区でやるのかあるいはA地区でやるのか、住民投票をお願いしたいと思いますが、市長の考え、市長の考えをお聞かせください。

そして、今現在、50%ないと何もできないと条例で定められていますが、これは別にこだわる必要はなく、何%であってもその結果がどうであったかということは公表して欲しいと思います。  
以上です。

#### 【市長】

ご意見ありがとうございます。ご質問ありがとうございます。

いろいろ、選挙当時、半額で現地建て替えということで、対案として出させていただきました。本当に、私も悔しい思いをしたんですけども。これ、選挙に出るときに対案というものは、当初出してなかったんですけども、市民の方々に訴えるのにどういう形がいいかということで、現地建て替え。半額っていうのは、市が出してる単価を平米数でかけて単純に出した金額で、約半額でということにださせていただきました。

評価委員会で精査していただきましたが、技術的には可能だけれども、運用しながらでは無理だという結論が出ました。これを出す、提案させて、対案として提案させていただいたときには、当然東京や大阪、大都会での病院の建て替えという事例があった中で、他所ではそういうことができるという判断で出させていただいたんですけども。現実、そこで運営しておられるお医者、医師の方々医療関係者の方々から反対をされては、いかんせん。それにこだわって無理きりすべきかどうかもやはり考えました。やっぱり1日も早く病院を整備するには、それにこだわってやるよりも、新しい方法というものを考えていくべきだという選択をさせていただいたということでございます。

また住民投票のことですけれども。私もその時は一市民でございまして、住民投票、49%だったかな、約49%、本当にもう1%ぐらいで開票していただけたらはっきりしたという気持ちは、ございませぬけれども。

今またあえて、住民投票をさせていただくということは考えておりません。今、提案を文章、ここで書かしていただいておりますように、現実、本計画の実現に向けてということでございます。これ自信を持って出させていただいております。この一番最適な、最良な提案だというふうに私は思っておりますので。この実現に向けて、皆様のご理解をいただき、応援をしていただけたら、1日も早く病院が整備できるものというふうに考えておりますので。ぜひともご協力、ご理解、ご協力をいただきたいと思います。

以上でございます。

#### 【市民】

野洲学区に居りますけれども、住所は三上になります。■■■■です。

先ほどいろいろと聞いておりますと、今の段階で後ろ向きの話はやめるべきだと思います。

まずは駅前南口やとかね、そんな話じゃなしに、先ほど言われたように、トップが変わったら方針が変わるんですから、それに対してどうするんやっていうことを、私は議論すべきだと思います。

駅前Aブロックの話をしてますけど、先ほど説明の中にもありましたように、これはね、前市長の政治的判断ですよ、全てが。御上会から、御上会野洲病院から『基本構想2010』でしたっけ、出てきたときに、市長は「野洲病院は白旗を挙げた」と。野洲病院を潰して、自分が駅前に病院を作るというストーリーを描いたんですよ。

で、なんでそこで駅前かっていうと、御上会が出てくる前の年ですね、平成22年の秋に、アサヒビールから「駅前の土地を売るんやけど、市が買うんやったら先に売るで」と、こういう話が来ました。そのときに市長は、1年間検討するから待ってくれと言ったんですね。次の年の平成23年4月に野洲病院が、市にこういう支援をしてくれと、基本構想を出して来よったんです。で、その時に、市長はもう駅前が頭にあったから、それでストーリー描いて、どんどんどんどん進めて。さも順々にやってるように、検討委員会を作ってやりましたけど。先ほど説明の中にもありました政治的な判断、要は追認しろというような内容を出してるんです。

で、事実、進め方も、議員に踏み絵を踏ますような提案をするんですね。資料にも入ってました、パッケージでやるわけですね、病院やるなら駅前やと。それが叶わないんやったら、病院は造らんと半分脅して、そういうことをやってきました。これが実態です。

ですので、市長が変わって、駅前には高価な病院は止めやと。多額の、120億円もかけてやる病院は止めやとということ。そして市長は、栢木市長は当選したんです。

市長はいろいろ熟考して、今の温水プール跡地にしました。

私は、その市長の熟考について、いささか疑問があります。何故かと言いましと、市長のメッセージのところですね。メッセージの1枚目、表面の下から5行目ぐらいのところ、なぜ郊外は駄目だということで、まずBにしたいという話ですね。Bにしたいという話。要は病院債で買ったやつ借金返さないかんとか、交付金がないから郊外でやるとそれができない。Bであれば、その辺はいけると。ということでBにしたって、ここで言うてるんですよ。

その後、今年ですか、1月5日の日に、創政会が駅前は止めて、他のところにせいと言うてきました。創政会は無責任にも、場所はこうやとか、今言いました病院債の話とか、そういう話を一切してないと思います。これは、市長の要望の中に、そういうことは書かれていないと思います。なのに市長は、ここに自分でこういうふう言うときながら、なぜBを止めていたのかっていうのが、非常に私、疑問なんです。てことは逆に言うたら、市長は、また、体育館を止めて他所に行くんちゃうんかなと、こう思いました。これやはり、多くの市民の方もそういう不安を持っておられます。また体育館も止めるん違うやろか。だからね、ここへ来たのはね、不安なんですよ。

で、先ほどの説明の中でも、Bブロックと比較したら、5,800万円でしたっけ、プラスぐらいでいけると言うてますけど。市長は、冒頭でも言いましたけ。駅前病院に多額の費用でやるのに反対したというのであれば、体育館横でやればね、これらの額になるんやとというのはね、示すべきだと思うんです。

それと、細かなシミュレーションは別にして、ここでやれば病院が成り立つんやとというのは、いると思いますよ。おそらく、基本計画ができてからやるんやと言うとは思いますが。山仲市長

でも、当初からシミュレーションをやってましたよ。ただ、やる度に金が増えていってましたけどね。そういうところをね、やっぱり示さんと、私達は不安なんですよ。Bブロックと比較するとかいうのはね、もういい話だと思うんですが、市長があそこでやりたいと信念を持ったのやったら、それについてどうやってやるという説明がほしいと思います。

それから、先ほど言われましたバスの話でね。誰のためのバスを出すんや。それに、Bブロックでバスは、駅前の利便性と比較したら1kmか2kmかかるからバスを出すんやと。これではね、何にもならんと思うんですけど。

それと、実際どのような人がバスに乗るんか。そういうこと思えばね、病院用の循環バスにするとか、先ほど言いましたコミバスの時間の見直しがありますからね、そのときにきちっと見直すべきだと思います。それと路線バスが走ってますんで、その辺もね、きちっと整合性をとってやるんやだと思います。

時間長くなりますけど、もう一点。先の議会で否決されたといいましたね、予算案がね。予算400万円の予算、否定されて。中身が何かっていうと、基本構想・基本計画の修正と見直し。この間の議会のときも、ゼロからではないと言いましたよね。修正やということは、駒井さんあたりであれば、収支くらい立派に出せるんじゃないですか。今の案を基にして、どういう病院にしようかというのは。だからそれは直営でやってほしいんです。先ほど言いました、パースも立派なの描いてましたやん。だからねこの作業は直営でやってほしいんですよ。他の議案は否決されたようなのはね、あの、まあ別として。今の修正のやつは、次の議会までにやりださんと。あの、議会ね、通年会期にしてくれて申し入れても無視されてますけど、通年会期だったら、すぐに招集出来るんですね。それが出来ひんってことは、次の定例会までとなってしまうんで。この作業の方はね、もう直営で、是非ともお願いします。

それと、もう最後。一番悪いのはね、やっぱり議会ですよ。議会がことごとく反対してやっている。で、議会でやらずに要望書とかいうものを出す。これが一番駄目ですよ。

病院については特別委員会があるんやから、もう隔週でもですね、特別委員会やってほしいんですよ。もう、今日ここでいいからね、市長と議会でね、それを言ってほしいです。

以上です。

#### 【駒井】

どうもありがとうございました。

ちょっと私の方から答えられることを申し上げたいと思います。

まず今回の提案につきましては、ご覧いただいたように、Bとの比較という視点で費用の方を整理してございます。何故か。理由はちゃんとございます。

まず、■■■■様がおっしゃったように、基本計画策定の段階で収支シミュレーション等々を組み立てていくからです。まあそのための予算が今回議会で否決されたんですけれど。だからエビデンス

が得られない状態なんです。職員では基本計画に出せる精緻な整備費の推計であるとか、あるいは、経費ですね、運営コスト、その辺については、職員では正確にはできないわけでございます。

ただ、概算については、整備費は、申しあげましたように狭い場所で計画していた建物を広いところに持ってくるわけですから、大は小を兼ねるじゃないですけども、今のところ想定は、駅前で建てる予定だった建物をこの場所にトレースするので、従いまして、まずイニシャルの方、整備コスト、建築コストそのものについては大きく変わらない想定で、今回、案を作ってます。

あと、だいたいの収支についても、いわゆる運営のコスト、医療の収益あるいは医療支出が中心になってまいりますけども、そこにつきましても、今回提案のこの場所であれば、駅前で計画していた病院の機能というかは、大きく変わるとは思えませんから。今回、我々は、診療所を造ってるわけじゃないんです。入院医療が中心である中核医療機関を造っているわけです。ですから、もちろん先ほど冒頭申しあげましたような、後方支援機能、リハビリテーション機能、二次救急、そういったものは何も変わらないのでございます。で、なおかつ患者さんの通院利便性も、大きく低下することはないという見込みでございます。運営コストにつきましても基本的には、今我々は、成案してませんけれども、お蔵に入ってますけれども、Bブロック病院で検討した収支計画がそのままスライド出来ようと考えてます。

ただ、これについてはやはり、様々な細かい調整が必要になってまいります。先ほど申したシャトルバスのコストをどう見積もるか、駅前からこちらに来ることによってこれまで要ってた職員駐車場の借り上げ費用がいらなくなってくるとか。細かいことで、色々と上下がある。こういったことは、やはりコンサルにきちっと計算をさせないと、我々では算定がなかなか難しい。私に作れと仰いますけど、それは大変困難なことでございますので、先ずそれをやっていきたいと思っております。

あと交通の問題ですけども。事実、今ある病院が別の場所に移るわけでございますから、その地域の周辺の方に対しては、一定の対応をする、これ当然のこと、行政として当然のことと考えてございます。なおかつ、ドクターの通勤の利便性ですが、駅からの利便性も確保すべきなら、シャトル路線についても是非とも実現したいというふうに考えております。

以上でございます。

#### 【市長】

一番最初の、熟考についてのいささかの疑問の中でございますけども。何故 B ブロックをやめてプール跡にしたのか、ということでございますけども。B ブロックの、要は委託していた計画というんですか、それが基本計画が上がってきた結果を見てですね、駐車場が40台とか、あれ7階建ての建物、建築ヤードがなかなか取れない、いろんなことがありました。

本当にこれでいいのかなということを、そのとき正直疑問に思いました。

当初聞いていた話では、やはり90何台は取れるやろうというような話も……。

#### 【市民】



そんな話、違う。ここにこう書いてあった、さっき言ったね、金の問題、書いてあるやん。病院債の返済やとか、それから資金が厳しいというふうに言うとのにね。それやからBにしてみた。それを止めて、創政会から出てきたからね、何で簡単に。創政会もそれ触れてないのに、何でなったんやと。

そのね、病院債の返済と、10億5,000万円はもうないとね。それについてどう解決できて、いくようになったんやという。

【市長】

あのね、去年の、去年の5月の財政状況っていうのを基金とかいろんなものの状況を見ていたら、とてもじゃないですけど野洲市はそのキャッシュがなかった。本当にお金がなかったっていう状況なんです。だから、それを市の職員からいろいろと説明を聞いて、これを例えば、郊外というんですか、当初から言っておりました体育館かふれあいセンターということへ持っていこうとしたら、だから、その繰上げ一括償還、10数億円の金額が一括償還で必要だということで、とてもじゃないけどそれだけのお金を用意はできないと。一時借入と、銀行から一時期借りて、それで返済するというのが规则的にこれはできないから…。

【市民】

市長、それはね、ここに書いてあるから。大体、分かるから。日本語のわかりにくい文章もあったけど。昨年、今頃…。

【市長】

だから、去年は金がなかった…。

【市民】

いやいや、それは書いとること見たらわかるから…。

【市長】

あの、現在は、少しはフローが、キャッシュフロー、要はお金が回るようになってきた。というのも一つの大きな要因ではあるということなんですよね。それで、創政会から要望書が出たというのは、自分にとってみたら大きな一つの励みにもなるし、弾みにもなったということなんですよ。

それで、これは一度、もう一度考えてみよう。野洲市のこと、将来のことを考えて。再度もう1回考え直そうって思ったのが、熟考という形で、皆さんに一旦、時間をいただいたということでございます。

それで、新誠会さんの方から出てきた。そして議会の方からは決議が出たと。要はBブロックで早期に病院を整備しなさいという決議が出た。これが否決されたということで、もうこれはBブロックでは駄目だ、これを執拗に進めていっても駄目だということで決断をしたのが、要は体育館、当時は体育館裏やったんですよ、そのときはね、私が思ってたのは。体育館裏か。ふれあい総合センターはもう解体せずに民間に貸そうということをもう既に決まって、決めてましたので。それを除いた体育館裏っていうのをまず、そこで出したわけなんですよね。で、それが、職員からの

提案というか、提案をしてもらって、プール跡地がありますよということで。最初はちょっとぴんときなかつたんですけども。ああ、こんなええとこがあんねんやということで、それで決めた。

だから、また変わるのかっていうことはございません。もうここで進めて参りたいと思っております。

【市民】

これちょっと一つ忘れてたんやけど、5日の日に創政会。5日の日に創政会から出てね、7日の日に各会派への要望事項の回答としてね、「Bブロックで令和7年の完成を目指してやります」って答え返しとんですよ。Bブロックで。5日に創政会から、駅前はやめて他にせいと出てきた、2日後ですよ。7日の日に、各会派が前年の11月に出した要望書に対する答えをね、令和7年の完成を目指して、Bブロックでやりますって言うとるんです。その部分を取り消すなり、修正するなりが、どこでもなかった。どこでもないんですよ。だから、私は疑ってるんです…。

【市長】

だから、創政会、創政会から出てきた要望書はきっかけだ、というのは一つのきっかけなんですよ、考え直すのに。だから、そのときにもう体育館に決めてたいうことはなかつたんです。

【市民】

まあ、まあいいですけど。それならそれで、出てきたら、回答は待つべきやったん違うかということですよ。会派への回答は、待つべきやったんと違うかと。創政会からそういうのが出てきたんやったらね。それにも関わらず、Bブロックでやりますと…。

【市長】

5日の日に出てきて、7日の日に回答してるんですけど。それは5日の日に要望が出てきたから、一晩寝て、もうやっぱりやめとくわいう感じでやってるわけやないんですね。それがきっかけで、熟考するまでの間に、やっぱり考えたんですよ。そんな簡単に、出てきたから2日後に答えはもうやっぱりこれやめます、そんなことできない。

【市民】

回答を待つべきやったん違うかって…。

【市長】

いや、それは待つべきべきではなかつたんです。

【小池】

すいません。ちょっと申し訳ないんですけど。申し訳ないです。

ちょっとね…。終わりの予定をしておったんですけども、ちょっと時間になりました。今の段階でご意見ご質問片手を挙げていただけますでしょうか？1、2、3名の方、順番に…。4名ですか、順番に当てさせていただきます。

【市民】

八夫という集落の■■■■といます。

今日で3回目出さしていただいて。というのは場所によって、私、コミセンみかみと、なかさとと、今日きたの、ね。それで、会場で大分、意見が変わるんですね。悪く言えば、みかみのときは非常に感情的な意見が多かったと思います。

で、聞くところによるとですね、議員の方も数名おられると。それは、議員の方、非常に、私、敬意を表したいと思います。なぜかと言うと、皆さんの意見を聞くということと、同様に市長、或いは市サイドが説明していることが事実であるかどうかをチェックしたいという、そういう思いがあると思うんですね。

それで私は、どういうことを申し伝えたいかと言いますと。私はですね、山崎市長さんのときに環境基本計画に関わらせてもらってですね、非常に皆さんで協議したりしてですね、結果、計画が出来あがったんですね。野洲駅前、そんな病院っていう話は、全然ありませんでした。やっぱり野洲ならではの市の駅前を創生するというので、まとまっていたわけです。

ところが、山仲市長さんが2期目ぐらいしてですね、だんだんだんだん中身を変えていってしまっ。それで私らがいろいろ提案してもですね、もうなんか全然その、山仲市長さんの結論が先にあってですね、そっちには誘導していくと。つまり、政治的に云々てのがありましたけど、まさに私らは、それを実感していました。ここでも山仲さんのことを全部否定して発言されておられた感がありますけど。これはですね、山仲さんのやり方についても、非常に問題があると認識していただきたいのと。

駅前ですね。これはもうヒートアイランド現象を起こす場所です。そんなところにですね、病院を造るなんて、言語道断です。場合によってはですね、人口密集地ですから、そこに避難できる大きな床があるということも必要なんですけどね。だから、政治的の云々というのはまさに。

私は、もう一つですね、病院の委員会、検討委員会に応募したんですが、外されました。そういうね、事実もあるんですね。政治的に、まさに。政治的に彼らをこういったところから。だから、だからそれを是として発言される方には、私は非常に疑問を感じます。

それともう一つ、市長さんがですね、私はあの、専門はですね、今農業やってますけど、前の世界物理学フォーラムでですね、30分の基調講演もやった物理学者です。ですから、物理学、実験物理学ですね、市長さんが最初の熟考されたときですね、反省的にやっぱ病院はまずいと、駅前にね、病院はまずいと思われた。それは私は、それは一貫していると思うんですね。その後、どうしようかああしようか、いろんな状況を踏まえながらずっと検討されていた。これは私が物理学を研究するのと、おなじ手法なんです。最初に受けた感性を、それをずっとこう、あるいはこうやっていろんなことで追及していくと。まさにその関係が貴重なんです。

だから、あのときこう言った、ああ言ったでなくて、今、私は一番いい結論出してると思います。んで、それを議員さんがおられましたらですね、そういうような考えもあるというお考えの上で、一部記者の方もおられているような感じがしますが、そういう方もですね、そういう客観的な事実をちゃんと踏まえて、ご判断を頂きたいという思いがあります。

以上です。

【市民】

市三宅の■■■と申します。

ここまで、立派なこととは言えないんですけども、気になるところがあって。このパワーポイントの最初に書いてある「50年先の野洲市を見据えて」という部分がありますけれども、この計画を立てられる際に、どういうビジョン、50年先をどういうビジョンで仮定されてるのかっていうのを伺いたいのと。あと、この計画っていうのは、専門家委員会とかあると思うんですけども、そういった方を通さずに話を進めていくのか。こちらもちよっと気になったんで、伺いたいです。

【駒井】

ありがとうございます。

まず2点目でございますね。50年先には二つ意味がございます。

一つは、今これから令和8年を目指して整備を進めようとしている病院が、次にもう一度建て直さなければならなくなるタイミング、これが約50年先ということでございますが、そうしますと、例えばですね、今、駅前に病院を整備しましても、次にまた移転する場所が必要になる、それが駅前に果たしてあるのか。ということで、それを考えますと、基本的に病院というものは、その周辺に展開できる用地がある場所である必要があると。そういうハード面でまず50年ということ、一つお示しております。

そしてもう一つは、やはり高齢化と人口減少でございます。2025年問題も、もうまもなくでございますが、その次、むしろ深刻なのが、野洲市の高齢化率が33%に達する。3分の1が65歳以上の高齢者になる時代です。高齢化の問題。で野洲市の場合は、高齢化率が上がるということよりも、もっと深刻な問題がある。それは高齢者が高齢化する、高齢者集団が高齢化するということなんです。この辺りは2040年問題、多死時代の問題というふうに云われています。

まさに多死ですから、在宅医療と申し上げましたとおり、全員が入院で亡くなる時代はもうないかもしれませんし、それだけの病床ベッドは確保できないかもしれません。しかし、どうしてもやはり医療ケアというものは、これから自ずと必要性が、ますます進む。そういったところを見据えて病院を造っていかないといけないという意図を込めております。

以上でございます。

あと、専門家の知見を頂くこと、これはもちろん致すことでございます。我々は、行政のプロではありますから、こういった計画立案なり政策提案は、当然プロとして自覚を持ってやっておりますが、医療や建築に関してはプロではない。その辺りは、まず民間のコンサルタントに有償で委託をして、つまり民間の専門家から、精緻なエビデンスを獲得していきたい。

そして次の段階で、さらに客観的な評価をお願いできる諮問機関と云われるところ、評価委員会という委員会がございまして、滋賀医科大学の上本学長がリーダーを務めて下さってますが、そこに掛けていき予定です。上本学長が仰ってるのことは、きちっとした計画の成案が整った暁に、

評価委員会としてきちっと評価していくとお約束いただいておりますので、そのためにも、この政策提案を計画とするための作業が必要になってくるということでございます。

以上でございます。

【市民】

北野の■■■です。

今50年先って、仰られましたよね。もうそれ非常に素晴らしいですので、それをしっかりやってほしいです。

ただ、一番最後でね、じゃ50年のなかで、駅前のところを10月になったら検討開始すると言ってるけれど、で、今の体育館横での病院整備は、それ以前に確定しちゃうんですか。それは、あまりにも前向きにやりすぎや。これは二つのことを、しっかりと比較で出して、こういう成果があるから出来るんやと。そこに、今おっしゃってる50年ってやつをどうかわしてくるか、とやらないと。何かものすごく片手落ちな感じで。何か、いますぐやっちゃえ、やっちゃえ、どんどん行けと。もう10年、20年も同じ遅れてきたんやから、もうちょっとそこんとこ、しっかりやってほしい。

もう一つは、ここに中堅病院としてやるために、かかりつけ医の皆さんとちゃんと連携とらなきゃいけないのだから、野洲の医師会はそれに対してどう考えているのか。ここんとこ、はっきりさせて欲しい。

【駒井】

はい、ありがとうございます。

まず駅前ですね、駅前整備とのいわゆる工程の連携といいますか、ネットワーク化、工程のネットワーク化というふうに申し上げる方がいいと思いますが、きちっとそこは確保していきたいと思えます…。

【市民】

だから同時に、こういう形でいけるんだよっていうことを出して、その上でこの話をしないと。こっちはなんか闇に任した状態で置いておいて、病院だけするって、おかしいじゃん。

【駒井】

説明が不足しておったんですけども。今皆様方にご説明をさせていただいてるのは、病院を郊外に持っていく、体育館跡地、温水プール跡地に持っていくという、先ずの病院のプランを説明をさせていただいてます。

【市民】

いや、だから、同時にやるべきでしょ。

【駒井】

すいませんね。実は政策の決定を、今の時点でしようとしているわけではないんです。野洲市という自治体、地方自治体としての政策決定、機関決定と呼ばれるものは、議会が可決してするものでございます。

【市民】

いや、だから言ってるんですよ。

【駒井】

市議会ですでにそのタイミングは、このご説明を作られさせていただいた段階では、9月の議会を思ってたんです。この資料のここですね…。

【市民】

だから、9月10月…。

【駒井】

ちょっとすいませんね、今日の資料ですね。ご覧いただきますように、今、6月議会で認めていただこうと思ってた予算というのは、新しい場所での計画を、病院の計画案を練るための委託費用なんです。でこの病院の計画案は、エビデンスを満載にして、今日提案させていただいてる内容にもっと肉付けして、今おっしゃってた収支計画とか整備費用の明細もより明確にしてですね、それで、その成案化した内容に、専門家の意見を頂きたいと考えてました。議会でも特別議会で議論いただいて、9月の時点ですね、9月の議会で病院整備としてはいよいよ事業化フェーズ、つまり設計にいくための予算をこの9月の議会で提案をさせていただいて、ご議論いただこうというふうに思っていました。

で、同時にこの9月までに駅前に関しても検討のための予算を上程をする…。ただちょっと時期ずれますけどね、おそらく、否決になった関係で。この9月の議会では。

【市民】

いや、だからね…。

同じように説明会をやらないと。みんな、理解できないじゃん。

【駒井】

今の段階では病院の説明会を優先させていただいてるんですけど。

【市民】

だから前のめりと…。

【駒井】

前のめりというよりもですね、病院にまず非常に高い関心があったということと、熟考の期間がありまして、熟考から明けて、新たなプランを設定させていただきましたので、そういった経緯の説明も含め、まずは、病院の方のご報告を、市民の方に、取り急ぎさせていただいているということです、ご理解いただきたい。

仰るように、駅前は当然、病院がなくなった後も、当然、跡地としてあるわけですから。その検討は、この9月議会というところのタイミングでスタートして、そのあと当然、歩調を合わせてやっていく考えでございます。有難うございます。

…あと、すいません、医師会につきましては、何度かご説明に上がらせていただくことをお願いしていました。そして6月の9日の日にですね、我々執行部と市、副市長が、医師会の理事会のご説明に、この案をご説明に上がらせていただきました。ただ今現状では、大変厳しいご意見を頂いております。

我々としては、決して諦めることなく、医師会の方にご説明に上がりまして、地域医療の確保という観点から、相互にご理解を賜りたいというふうに、引き続き思っております。あきらめることなく、お願いを申し上げたいと考えております。

以上でございます。

#### 【市民】

行畑の■■■と申します。

実はですね、今日これが最後の病院説明会ですね。そういう意味で、わざわざ来ました、ここへ。賛成反対、いろんな意見が出てます。それは当然のことですよ。

まず私が一番に感じることはね、まず市民病院、野洲市民病院ね。野洲市民病院なんてね、野洲市がするべきじゃない。これが一番。病院いらん。本当は。たったね、5万人、市民は5万人しか、いてないんですよ、人口。5万人のうち、実際働いている、収入のあるのは2万何人ですわ。そんなもんで、市民病院ができる道理がないんです。絶対できない。それをね、前市長はやってしまった。これしょうがない。決まったものはしょうがないけどね、やらざるを得ない。だからそういう意味では、今、栢木市長が非常に苦労しとる。これはわかりますわ。しかしだから、それが身の丈に合った病院経営をするしか、しょうがない。そういうことですよな。

これ、いろいろ調べたらね、人口は最低で20万人。20万人おらんかったら病院、市民病院なんてできないですよ。

守山市民病院とか、あちこち調べてみたんです。どれぐらいいるかね。いろんな病院の方で行政の方で、いろいろ調べていくことをしました。最低、人口20万人。ということは、草津市でもちょっとしんどいですよ、市民病院をするのは。だから野洲市は、本当にこんな人口で、ようこんな市民病院にしたなど、僕、びっくりしましたけれども。最初、ようやったなど、こんなこと。

そうなるよね、ますますね、こんなこと言っちゃ悪いけれども。怒られる。病院側もね、これ経営努力しないと。黙っても給料入るんですわ、院長は。それは、あれも商売なんだからね、本当はもっと経営努力しなければ駄目ですよ。僕が院長だったらもっとやりますわ、経営努力を。何とかして、立て直そうと思えますけども。

しかし、そんなこと言ってられません。一応、野洲市民病院になったんだからね、我々協力し、やらないかんと。それはわかります。もうやりましょう。

それでね、まず僕はあの、これは病院いろいろ、いろんな意見が出てます、駅前がええと、どこがええか、あっちゃこっちゃ、出てましたわな。最初はね、ずっと、私がもともと行畑なので、本当に今の駅前に出来たら非常に近くて、便利でいいですよ、本当に。歩いて行けるから。

ところが私は、駅前、反対です。

なんでか言うたらね、現在のそれ駅前の前の通りはね、中山道、あれ一方通行でね。もう朝の7時から9時までなんかほとんどね、自分の家の前から車を出すこともできないくらい道が混むんですよ。道がもう、車が通って通って通って。

そんなところへ病院を持っていったらね、今以上に渋滞しますわ。ましてやあっこは一方通行なんでね、朝は。で、救急車が走りまわるは、学校はあるわ、幼稚園はあるわで。あんなとこにね、ごちゃごちゃするところで、病院なんてするべきではありません、絶対に。

だから、それだったら本当に広いところに。僕は最初、あれ、さざなみホールくらいの、中主でもいいと思ったんですよ、あのへんにボーンと病院持っていったらいいなと思ったんです。現にね病人さんだったら、ほとんど車で行くんですよ。私も車で行きますわ。だからこんなもん、歩いて行くんやったらもう、掛かりつけの近くの医者に、皆さん行かれるんでね。そっから、それ以上悪いなったら、大きい病院に行くんですわな。それから何もあんなとこへ、あの市民病院、野洲市民病院とか、する必要ないしね。

だからもともと、もうやっぱり造るんだったらするんだったら、栢木市長が熟考に熟考を重ねて場所をここに持ってきた、その体育館の横にね。それはそれでよしとせな、しょうがないと思うんですよ。何人かの方が言うておられるけれども、トップが変わったら政治が変わるのも当たり前ですよ。そういう私は、頭の中でもっとええ所もあるやんと思ってますけども、やっぱり、皆さん行政、市長と一緒に、この行政の方が考えた結果やからね。我々野洲市民なんだから、やっぱりそういうのはある程度協力しましょうと。

これやっぱり50年先云々と書いてますけども、我々はね、皆さんも、こんなこと言うと失礼なんですけども、皆さんは自分のことしか考えない。自分の病気を治してくれな困る、ここに病院にしてほしい、それしか思わない。

ところが一番は地元なんです。あのね、駅前の方が反対しておられる。そこを考えないと駄目ですよ、本当に。何で嫌なのかということ。一番、地元が反対していながら、そんなところへ病院持ってもいったら、地元の方は迷惑ですわ。ゆうてる間から。

そんなんだったら、もっと広いところへ持って行った方がいいです。ほんで、他なんにも店がないどうちゃらこうちゃら言うておられますけれども、病院をもってきたらね、その近辺にね、やっぱりお店できるでしょう、多少は。街ももうちょっと活性化もなると思いますよ。

だから、市長ちゅうのは、あくまでもその市全体を考えてる、いつも頭の中に入れとるんでね。我々は病院しか考えないけども。その辺のところちょっとね、市の行政の方のこと、ちょっと皆さん、理解してやってほしいと思います。



ちょっとまとめて、他にもあるんですけど。決まったことなんだから、協力しましょう。それしかしょうがないです。

【小池】

はい、ありがとうございました。

本日いただきましたご意見等につきましては今後、市民病院整備を進めるに当たりまして参考とさせていただきます。よりよいものとなるように取り組んでまいります。

それでは最後の閉会にあたりまして、副市長の佐野よりご挨拶申し上げます。

【副市長】

遅くまでありがとうございました。

いろいろ厳しいご意見をいただきました。また賛成のご意見をいただきました。いずれにしましても、病院をよりよいものとするという意見だと思っておりますので、しっかりと受け止めさせていただいて、病院の検討を進めたいと思います。

本日はありがとうございました。